

第24回オホーツクの四季写真コンテスト 入賞作品発表

写真展は3月21日(土)～4月19日(日)まで開催(入場無料)

今年で24回目を迎えましたオホーツクの四季写真コンテスト、道内外より72名、135点の応募をいただき、北海道写真協会の審査員による厳正な審査の結果、次のとおり各賞が決定いたしました。

■最優秀賞
(北海道知事賞)
「春よ来い」

小館 雅芳
(北見市)



□特選(流水科学センター所長賞)

「貝殻山脈」
千葉 逸子(名寄市)



□特選(流水倶楽部会長賞)

「モンスター出現」
中村 豊美子(新潟市)



○入選:「氷海の一瞬」大山 時治(紋別市)、「しばれの朝」大鹿 静彦(北見市)、「彩る古木」谷 謙三(美幌町)、「曙光飛翔」渋谷 初(紋別市)、「白雲の丘」石川 栄三(北見市)、「月光に輝く(後の十三夜)」伊原 薫(美幌町)、「ウトロ港夕景」松井 繁男(別海町)、「星降るオホーツク」山本 真也(札幌市)、「凍結山彦の滝」新庄 友行(北見市)、「真夏の幻想」渡辺 義正(北見市)、「氷壁に挑戦」矢録 恭司(北見市)、「斜里岳残照」木村 勝(北見市)

○特別賞(ガリヤ賞):「短い夏」脇本 滋(興部町)、「氷塊」中村 法幸(紋別市)、「コムケ湖の夕焼」仙田 隆一(紋別市) ※応募番号順・敬称略

受賞者の皆様おめでとうございます。応募されました全作品は3月21日(土)より4月19日(日)まで多目的ホールにおいて「オホーツクの四季写真展」(入場無料)にて展示いたします。

5月2日(土)～6日(水) ゴールデンウィークイベントのお知らせ

今年もゴールデンウィーク(GW)期間中にイベントを開催します。5月2日(土)～6日(水)をギザッピーウィークとしてミニゲームや縁日を実施し、3日(日)～5日(火)は特別イベント「GIZAでお宝探し(仮)」を行います。

発掘体験では色々な宝物を掘り出しお持ち帰り頂けます。お宝探しの参加には費用がかかります。詳しくはホームページなどに掲載いたしますのでご覧ください。

ホワイットコンサート「癒しの歌声 Yaeを聴く夕べ」終了しました

2月16日、第30回北方圏国際シンポジウムの協賛イベントとして「癒しの歌声 Yae(ヤエ)を聴く夕べ」がエントランスホールにステージをセットして行なわれました。

歌手 加藤登紀子さんの次女で、シンガーソングライターとして幅広く活躍されているYaeさんはオリジナル曲を中心に15曲ほど熱唱していただき、透明感のある歌声に観客とともにうっとり聴き入ってしまいました。

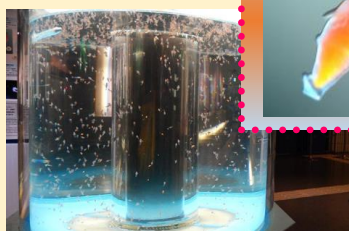


レコーディング前の新曲「ふたつ星のうた」のサービス、鳴り止まないアンコールの拍手にこたえてオリジナルの無伴奏民謡と「みんな夢のなか」を披露し、「また会いましょう」と宣言しステージを後にされました。

Yaeさん、ともに演奏してくれたギターの越田太郎丸(こしたたろま)さん、ピアノ・ヴァイオリン・クラリネット・バンドネオンを多彩に操る啼鵬(ていほう)さん、素敵なコンサートをありがとうございました。

クリオネ水槽がにぎやかになりました！

ペリクリオネ
(イクオネ)



センターのクリオネ水槽には現在今シーズンに採集した1500匹もの元気なクリオネが見られます。おそらく日本一の数ではないでしょうか。オホーツク海では2種類のクリオネを見ることができ、よく知られているクリオネの他に俗称イクオネと言う種類もいて、水槽にはこのイクオネも仲間入りしています。両者の違いは解説パネルにありますので見比べてみると面白いかもしれません。2種類のクリオネ、圧巻の数です。是非ご覧ください。

～流氷の街から～ クリオネについて

今シーズンもクリオネを採集することができ、展示室のクリオネ水槽は大にぎわいです。クリオネは分類上イカやタコの仲間の軟体動物門で、さらに細かく分類すると巻貝の仲間の腹足綱、裸殻翼足目、ハダカカメガイ科、クリオネ属のクリオネとなり、日本名(標準和名)はハダカカメガイと名付けられています。世界共通の名称である学名の *Clione limacina*(クリオネ リマキナ)ですが、属名のクリオネは「ギリシャ神話に登場する海の女神クレイオ」、種小名のリマキナは「ナメクジの様な」を意味し「ナメクジの様な海の女神」となります。褒めているような、いないような名前です。

卵から孵化したクリオネは軟体動物に多く見られるベリジャー幼生となり、このころは貝殻を持っています。人工飼育では約2週間で殻を捨て、繊毛で動き回る多輪形幼生となったという報告があります。その後、繊毛が無くなり翼の様な翼足が大きくなり皆さんご存知の姿となります。

クリオネは獰猛な肉食で、偏食家です。ミジンウキマイマイ(学名:*Limacina helicina*)と呼ばれる貝殻を持った翼足類しか食べません。

また、食事の方法も普通の優雅に泳ぐ姿からは想像のつかないものです。頭から3対6本のバツカルコーンと呼ばれるフックを出し餌であるミジンウキマイマイに襲いかかります。そしてバツカルコーンでミジンウキマイマイを捕えると1対2本の歯舌を使ってミジンウキマイマイの殻以外の軟体部を食べていきます。食事中は翼足を激しく動かし、食べ終わるまでには数時間かかります。

クリオネは海中の生活型で分けた場合、海流に流されて生活する浮遊生物、プランクトンにあたります。翼足を動かして移動することができますが流れに逆らって泳ぐ力はありません。クリオネは流氷にしがみついてオホーツク沿岸にやってくるわけではありません。流氷時期によく見



られるのはクリオネが棲んでいる冷たい海水がやってくるのと時期が同じだからでしょう。ですので、クリオネがいる海流がくると流氷がなくても見ることもできます。

流氷時期の海岸ではクリオネを採集している方の姿を見ることが多くなりました。この時期の海水温はとても低く、万が一海に転落してしまうと低体温症など命に関わる危険があります。岸から見ると大きく厚く見える流氷も、実は海側の見えない部分は波で削られてとても薄くなっていることがあります。クリオネ採集の際は十分お気を付けください。(学芸員 桑原)

行事予定

<3月>

■冬のギザ祭り

流氷重さ当てクイズ

期間:1日(日)(流氷重さ当てクイズは計測会前)まで

■流氷重さ当てクイズ計測会

期間:1日(日)午後1時半～

■第24回オホーツクの四季写真展

期間:21日(土)～4月19日(日)

表彰式:22日(日)

■春休みイベント「こちらこおり研究所」

(詳細は後日ホームページにてご案内いたします。)

<4月>

■第24回オホーツクの四季写真展

期間:～4月19日(日)

■もの作り講座

期間:25日(土)午後1時半～

※幼稚園・保育所・児童館の先生が対象となります。

※予約受付が必要です。

■ギザ映画会(予定)

<5月>

■ギザッピーウィーク

期間:5月2日(土)～6日(火)まで

(詳細は後日ホームページにてご案内いたします。)

<6月>

■もの作り講座

期間:27日(土)午後1時半～


※幼稚園・保育所・児童館の先生が対象となります。

※予約受付が必要です。

※その他最新情報・詳細についてはホームページ・facebook ページにて随時更新していきます。

GIZAだより Vol.106 発行:北海道立オホーツク流氷科学センター

〒094-0023 北海道紋別市元紋別11-6 TEL (0158)23-5400 FAX (0158)23-9844

[ホームページ] <http://www.giza-ryuhyo.com> [メール] info@giza-ryuhyo.com  <http://www.facebook.com/giza.ryuhyo/>

[開館時間] 9:00～17:00 [休館日] 3月は全日営業いたします。・4月:6、13、20日・5月:7日